

今年の桜は例年よりも5日程早く咲いたようです。今ではすっかり新緑の葉桜に様変わりしております。また、白つつじの花も例年よりかなり早く咲き始め、開園の5月10日には見頃を迎えそうな気がします。これからは、野だて茶会、白つつじマラソンや黒獅子まつりなどのイベントが盛りだくさんです。自分にあったイベントを見つけて、花の長井を楽しんでいただきたいと思います。

春の交流会を行ないました！！

4月23日(木)、参加者6名でお花見交流会をしました。今回は、パンフレットに載っていない隠れた桜スポットも見えました。天気も良く、この上ないお花見日和となりました。

スタートは白つつじ公園、最上川堤防千本桜と野川堤防の桜並木は歩いて散策しました。残雪が残っている山と青い空と桜、雪解け水が流れる野川には鉄橋があり、そこを偶然にも汽車がゆっくり通って行きました。絵のような景色に皆さん感動です。花びらの色も濃い・薄いがあり「きれいだなあ」「すごいね」の声があがりました。長井高校や小桜館もバスから眺めて楽しみながら巡りました。

お昼は伊佐沢にある「獅子宿燻亭」で餅と蕎麦のセットをいただきました。築110年の建物で、玄関横には大きな八尺黒獅子が飾られています。建物の中には、色付け前の獅子や表情が違う獅子が飾られていました。建物も古民家なので、高い天井を眺めながら「懐かしい」と話す方もいました。

地元の人しか知らないような場所にも行きました。時代を感じさせる太い幹のしだれ桜、ピンクの桃の花と一緒に咲き誇っている様に全員が驚きと感動に浸ってしまいました。桜を見ながら、地元の桜の思い出話をする姿もありました。帰りは、白鷹の桜回廊を車窓から見て戻ってきました。

桜を皮切りに花の長井が始まったので、楽しんでもらえたらいいなと思いました。

この交流会の様子が「うえるかむ 第61号」の表紙になります。



野川堤防の風景



称明寺阿弥陀堂の桜(白鷹)



久保桜にて



貝生公民館のしだれ桜

次回の交流会は、米沢市社会福祉協議会主催
温泉でほっこり・ゆっくりしませんか！？
です。

置賜地区に避難されている方々が参加されます。今回は、長井市に来て白つつじ公園見学・市内散策と、はぎ乃湯で食事をするそうです。

詳しくは、別紙チラシをご覧ください。



参加できる方は、

10:30→白つつじ公園集合
合流し、交流会参加。その後、バスではぎ乃湯へ。

14:30→はぎ乃湯出発、白つつじ公園へ。
到着次第解散

* はぎ乃湯だけの参加も可能です。

申し込みは、米沢市社会福祉協議会または、長井市社会福祉協議会の生活支援相談員へ。

TEL : 0238-88-3711 (鈴木・手塚まで)

～～5月のイベント情報～～

◎白つつじまつり

5/10(日)～5/31(日)まで開催されます。

◎第37回 全国白つつじマラソン大会

5/17(日) 会場:長井市民文化会館

・午前10時スタート

5km・10km・ファミリー5km

・午前10時03分スタート

2km・ファミリー2km

・9時30分スタート

最上川フットパスウォーキング

※今年の申込は終了しました。

来年、挑戦してください。

◎第26回 ながい黒獅子まつり

5/23(土)

(昼まつり) 正午スタート(予定)

《長井の心》地域文化発表会

・長井小学校・・・長井小黒獅子舞

・豊田小学校・・・少年少女河井獅子踊り

・平野小学校・・・平小獅子踊り

黒獅子舞・・・5社の黒獅子が舞を公園内で披露します。

(夜まつり) 午後5時30分スタート

10社の黒獅子が6カ所に分れてスタートし、長井市内目抜き通りをお庭振りや道中振りを披露しながら白つつじ公園多目的広場のお宮を目指します。

◎元祖 投げ銭コンサート

5/24(日) 午後1時～5時

場所:白つつじ公園内

出演:影法師ほか

※まつり期間中の詳しい日程は、5/1の市報と一緒に配布になった、別紙チラシをご覧ください。



あとがき

4月下旬頃から夏のような暑さが続き、体がついていきませんね。これからも不安定な天気があると思うので、体調に気を付けて心地いい季節を楽しんでください。



長井市の観光スポット 白つつじ公園

◎白つつじ公園の歴史

この公園は戦国時代の土豪「野呂氏」の住居跡と言われ、明治17年～18年にかけてここを公園にしようとする地区民が池を掘ったり、松などを植えて整備造成し「松が池公園」と呼んだのが始まりです。

その後明治28年、当時議員だった横山孫助氏の熱心な活動で、市内花作町の旧家鈴木七兵衛氏の築山に植えてあった白つつじの古木を譲り受け、これが「七兵衛つつじ」として親しまれ大切に育てられています。①子供の遊び場としての公園 ②風光・草木花を鑑賞するための公園 ③寺院・仏閣を中心とする崇啓の場としての公園として具体的に説き、経費は小出区有財産の一部を売って準備しました。



◎七兵衛つつじ

樹齢750年のつつじの古木群です。

鈴木七兵衛が育てたものです。市内花作地区の豪農で鈴木姓の総本家といわれ、教養が高く風流を好みました。天明3年の大飢饉の時、飢えに苦しむ町民を助けるため、屋敷内に築山を作り白つつじ(琉球種)を植えさせ、作業に携わった農民に賃金の代わりに米を支給したという話が残っています。

花が咲きそろった時は、一面雪が降り積もったように素晴らしい花で覆われ、近郷の人まで昼食持参で訪れ、遊山場として親しまれたそうです。

◎明治時代後期～大正時代

・明治30年日清戦争の祝勝を戦没者の慰霊をかねて「征伊清記念碑」を建立しました。

・明治41年～43年に公園の拡張と整備が行われました。水田を買収し、公園の規模を広くしましたが、それに相応する白つつじの成木を買い集めることが困難なことでしたが、横山孫助等は「七兵衛つつじ」を全部譲渡もらえないかと誠意を尽くし、情熱と根気で交渉して、遂に説得に成功しました。

・大正12年市内小出生まれの俳人「川崎玄子」の句碑を建立しました。

◎昭和時代～平成時代

・昭和35年 市内時庭生まれの南宗画の先駆者「白龍山人菅原の碑」が建立されました。

・昭和57、58年 都市計画事業として改造しました。

・平成元年～2年 オアシスタウン構想が策定され、「松が池」、「ひょうたん池」それを結ぶ「せせらぎ」が整備されました。

